

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第94回)

2020年 4月～6月期 実績

2020年 7月～9月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 （中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 令和2年6月
- ② 調査対象期間 今期（令和2年4月～6月期）に対する前期（令和2年1月～3月期）及び前年同期（平成31年4月～令和元年6月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	219	(81.1%)
輸送機器	40	→	32	(80.0%)
その他製造	40	→	38	(95.0%)
建設業	50	→	39	(78.0%)
卸売業	30	→	26	(86.7%)
小売業	40	→	33	(82.5%)
サービス業	70	→	51	(72.9%)

5. D I 値について

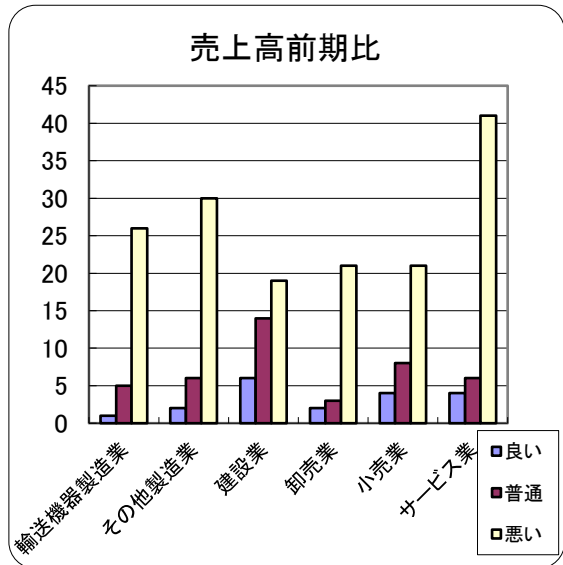
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

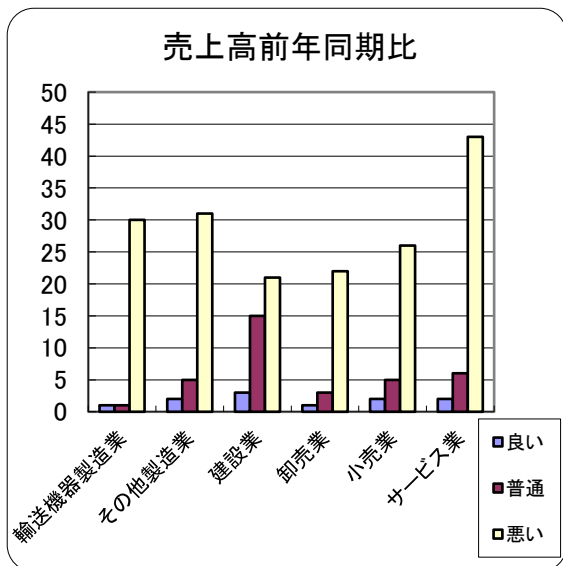
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	5	26	32	▲ 78.1
その他製造業	2	6	30	38	▲ 73.7
建設業	6	14	19	39	▲ 33.3
卸売業	2	3	21	26	▲ 73.1
小売業	4	8	21	33	▲ 51.5
サービス業	4	6	41	51	▲ 72.6
合計	19	42	158	219	▲ 63.5



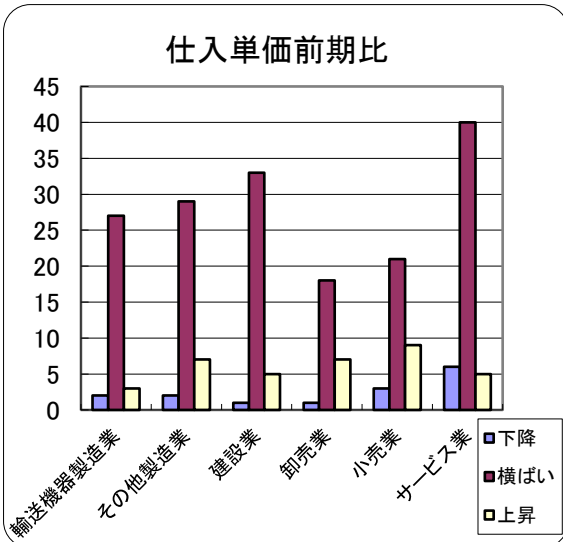
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	1	30	32	▲ 90.6
その他製造業	2	5	31	38	▲ 76.3
建設業	3	15	21	39	▲ 46.2
卸売業	1	3	22	26	▲ 80.8
小売業	2	5	26	33	▲ 72.7
サービス業	2	6	43	51	▲ 80.4
合計	11	35	173	219	▲ 74.0



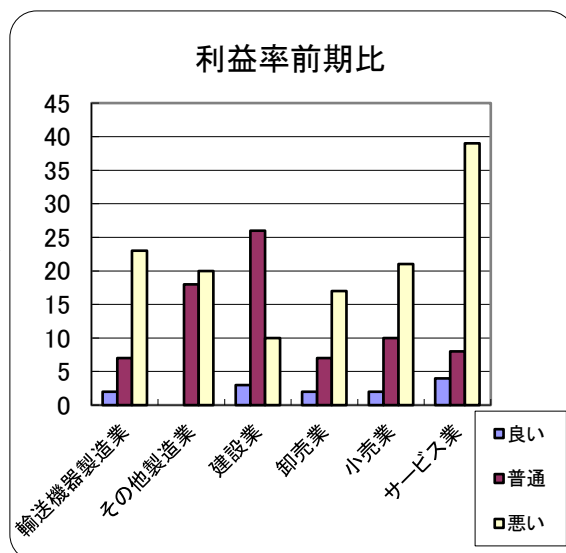
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	2	27	3	32	▲ 3.1
その他製造業	2	29	7	38	▲ 13.2
建設業	1	33	5	39	▲ 10.3
卸売業	1	18	7	26	▲ 23.1
小売業	3	21	9	33	▲ 18.2
サービス業	6	40	5	51	2.0
合計	15	168	36	219	▲ 9.6



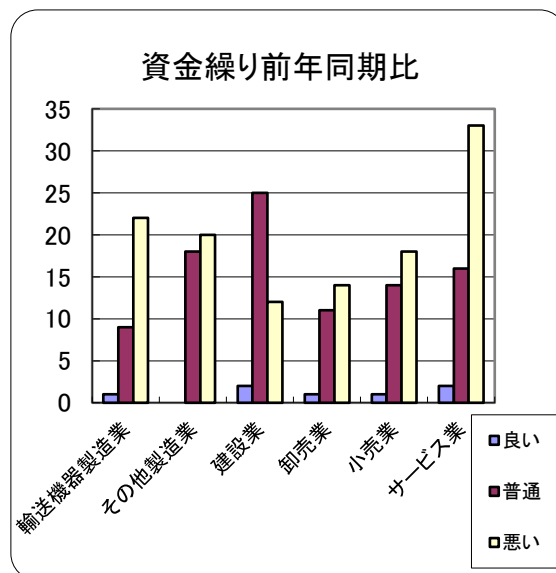
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	7	23	32	▲ 65.6
その他製造業	0	18	20	38	▲ 52.6
建設業	3	26	10	39	▲ 18.0
卸売業	2	7	17	26	▲ 57.7
小売業	2	10	21	33	▲ 57.6
サービス業	4	8	39	51	▲ 68.6
合計	13	76	130	219	▲ 53.4



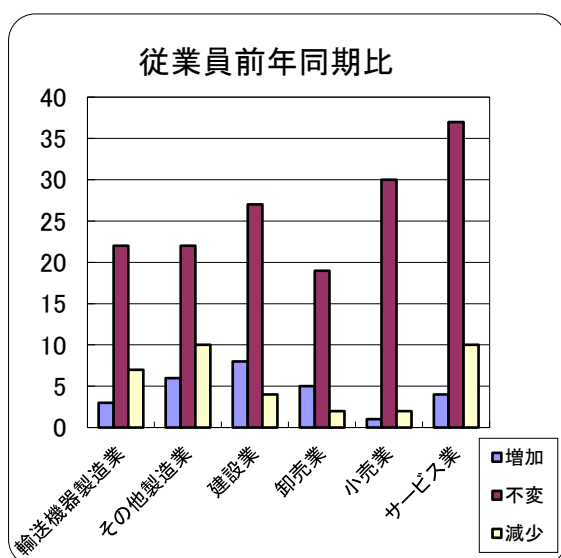
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	9	22	32	▲ 65.6
その他製造業	0	18	20	38	▲ 52.6
建設業	2	25	12	39	▲ 25.6
卸売業	1	11	14	26	▲ 50.0
小売業	1	14	18	33	▲ 51.5
サービス業	2	16	33	51	▲ 60.8
合計	7	93	119	219	▲ 51.1



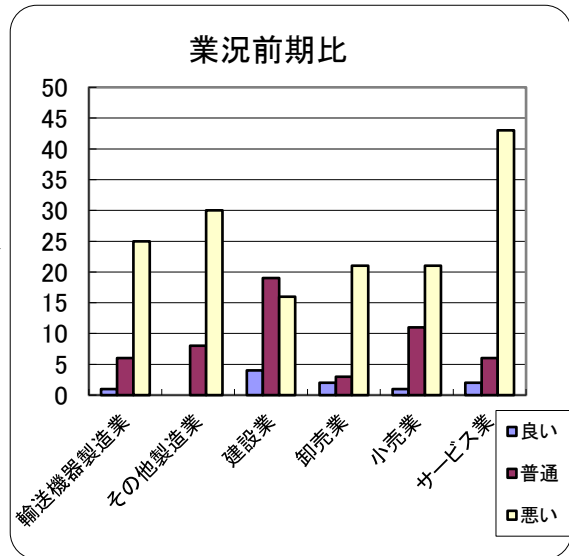
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	3	22	7	32	▲ 12.5
その他製造業	6	22	10	38	▲ 10.5
建設業	8	27	4	39	10.3
卸売業	5	19	2	26	11.5
小売業	1	30	2	33	▲ 3.0
サービス業	4	37	10	51	▲ 11.8
合計	27	157	35	219	▲ 3.7



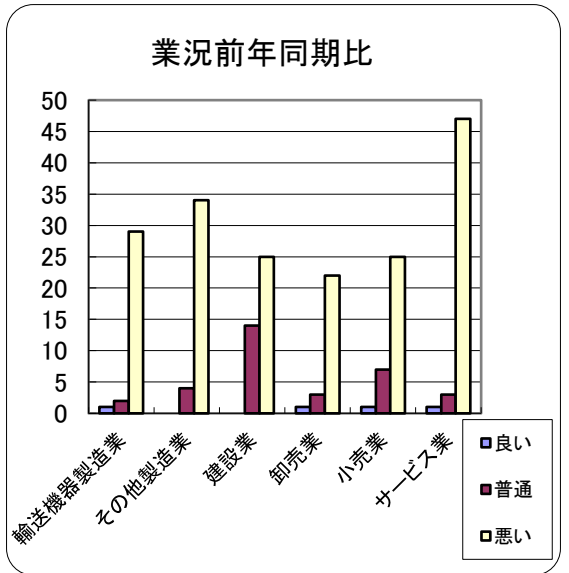
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	6	25	32	▲ 75.0
その他製造業	0	8	30	38	▲ 79.0
建設業	4	19	16	39	▲ 30.8
卸売業	2	3	21	26	▲ 73.1
小売業	1	11	21	33	▲ 60.6
サービス業	2	6	43	51	▲ 80.4
合計	10	53	156	219	▲ 66.7



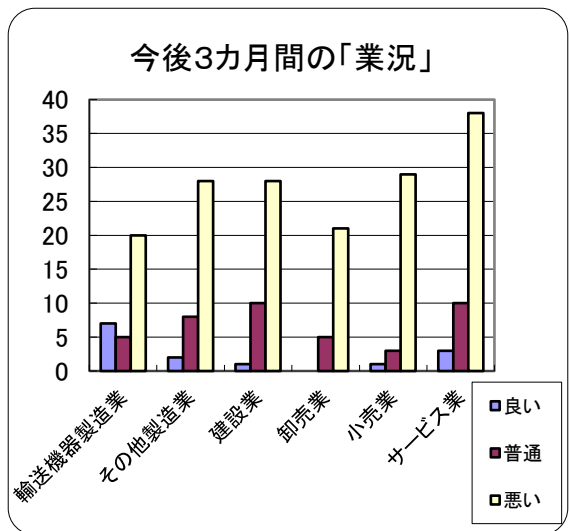
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	2	29	32	▲ 87.5
その他製造業	0	4	34	38	▲ 89.5
建設業	0	14	25	39	▲ 64.1
卸売業	1	3	22	26	▲ 80.8
小売業	1	7	25	33	▲ 72.7
サービス業	1	3	47	51	▲ 90.2
合計	4	33	182	219	▲ 81.3



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	5	20	32	▲ 40.6
その他製造業	2	8	28	38	▲ 68.4
建設業	1	10	28	39	▲ 69.2
卸売業	0	5	21	26	▲ 80.8
小売業	1	3	29	33	▲ 84.9
サービス業	3	10	38	51	▲ 68.6
合計	14	41	164	219	▲ 68.5



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 18.8	▲ 78.1	▲ 59.3
売上高前年同期比	▲ 9.4	▲ 90.6	▲ 81.2
仕入単価前期比	▲ 31.3	▲ 3.1	28.2
利益率前期比	▲ 15.6	▲ 65.6	▲ 50.0
資金繰り前年同期比	▲ 9.4	▲ 65.6	▲ 56.2
従業員前年同期比	6.3	▲ 12.5	▲ 18.8
業況前期比	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 50.0
業況前年同期比	▲ 31.3	▲ 87.5	▲ 56.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 40.6	▲ 40.6	0.0

[企業コメントより]

- ・コロナで一時ストップしている企業もあるが、当社は職種が金型だったため休業もなかった。だが次期の金型予定はまだはっきりせず、今後が心配だ【金型製造】
- ・車関係の仕事が非常に少なく、開発の方も遅れているようだ。今年は非常に厳しい年になりそうだ【金型製造】
- ・新型コロナウイルス感染症による主要取引先の操業停止のため【輸送機器部品】
- ・台風19号の次に新型コロナで大打撃だ【輸送機器部品】
- ・地元メーカーの生産次第【輸送機器部品】

その他製造業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 45.7	▲ 73.7	▲ 28.0
売上高前年同期比	▲ 48.6	▲ 76.3	▲ 27.7
仕入単価前期比	▲ 34.3	▲ 13.2	21.1
利益率前期比	▲ 37.1	▲ 52.6	▲ 15.5
資金繰り前年同期比	▲ 31.4	▲ 52.6	▲ 21.2
従業員前年同期比	▲ 11.4	▲ 10.5	0.9
業況前期比	▲ 60.0	▲ 79.0	▲ 19.0
業況前年同期比	▲ 48.6	▲ 89.5	▲ 40.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 48.6	▲ 68.4	▲ 19.8

[企業コメントより]

- ・コロナウィルスの影響がだいぶ出てきている。4月展(秋冬物)の展示会も各アパレルほとんどが中止となった。サンプル依頼もなくなった。サンプル依頼が無ければ受注もない。早く終息して欲しい【ニット製品製造】
- ・単発の仕事があったので売り上げは伸びたが、コロナの影響は今後も受ける【自動車・産業機器設計製造】
- ・コロナウィルス問題が拡大する前に受注した案件で現在は売り上げが確保できている。最近新規案件の打診が減っており、将来の売り上げが懸念される【化学工業製品】
- ・今期(4月~6月)の悪化要因は、新型コロナの影響により地元メーカー関連の売上減による【プラスチック製品】。
- ・こうなってくると、負のスパイラルをどこで断ち切るかが問題だろう【プラスチック製品】
- ・3月より多少なりコロナの影響を受けていて売上は落ちている。早く通常に戻ることを願う【電気製品】。
- ・仕入単価についてはコロナウィルスに関係なく人件費、材料費の高騰を受けて昨年より上昇中。その他については、コロナウィルスの影響で営業活動に支障あり、売上が伸びない、資金繰りが苦しい、といった状況【産業機械】。
- ・コロナ禍の影響で、工場設備やメンテナンスの中止・見直しでこの先が見通しづらい状況だ【産業機械】。
- ・コロナの影響に加え、自動車メーカーの開発が停滞している【省力化機械製造】。
- ・新型コロナウイルス影響による市況の悪化を見込む【電気機器】。
- ・売上高は、前年の45%となる見込みとなっており、非常に厳しい状況である。また、コロナ後において、1年後は70~80%回復見込み、3年後に完全回復の計画を策定した【食料品製造】
- ・コロナの影響なのか、一般家庭から問い合わせすら無い【住宅内装品製造】。
- ・この状況では仕方がない【空調機器部品】

建設業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 20.5	▲ 33.3	▲ 12.8
売上高前年同期比	▲ 23.1	▲ 46.2	▲ 23.1
仕入単価前期比	▲ 25.6	▲ 10.3	15.3
利益率前期比	▲ 15.4	▲ 18.0	▲ 2.6
資金繰り前年同期比	▲ 12.8	▲ 25.6	▲ 12.8
従業員前年同期比	7.7	10.3	2.6
業況前期比	▲ 28.2	▲ 30.8	▲ 2.6
業況前年同期比	▲ 30.8	▲ 64.1	▲ 33.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 28.2	▲ 69.2	▲ 41.0

[企業コメントより]

- ・コロナの関連で公共工事が少ない(災害復旧優先…主に西毛地域)、東毛地域の予算が少ない【土木工事他】。
- ・4月～6月期に売上がる案件は昨年11月～今年1月頃の受注で、新型コロナウイルスの影響はあまりなかった。ただ、今後は消費の落ち込みがあると思われるため、受注が厳しくなると考えられる【総合建設業】
- ・コロナによる世界的な経済悪化により、見通しが立たない【総合建設業】
- ・コロナの影響で工期が遅れる所がでてきている。今後はもっと大きくなるだろう【造園工事】。
- ・流通や物流が良くない【住宅建設】
- ・コロナの状況によって、今後どうなるか読みにくい【住宅建設】
- ・新型コロナウイルスが終息しない限り、まず上昇傾向にはならないと思う【建設付帯工事】。

卸売業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 41.7	▲ 73.1	▲ 31.4
売上高前年同期比	▲ 58.3	▲ 80.8	▲ 22.5
仕入単価前期比	▲ 16.7	▲ 23.1	▲ 6.4
利益率前期比	▲ 37.5	▲ 57.7	▲ 20.2
資金繰り前年同期比	▲ 12.5	▲ 50.0	▲ 37.5
従業員前年同期比	0.0	11.5	11.5
業況前期比	▲ 41.7	▲ 73.1	▲ 31.4
業況前年同期比	▲ 50.0	▲ 80.8	▲ 30.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 62.5	▲ 80.8	▲ 18.3

[企業コメントより]

- ・ご多分に漏れず、多数の民間工事が中止あるいは延期となり、かなりの売上減【住宅設備機器卸】
- ・福祉業界は人材が集まりにくい、コロナ騒ぎをチャンスととらえ募集をかけたところ30人募集があった。中小企業は、人手を集めるのは今がチャンスだと思う。当社としては、将来に備え働き方改革の推進と組織だった動きを構築していこうと、従業員を増加させている【医療機器卸】。
- ・太田市の住宅リフォームの申請様式が変わり、3か月に分けて整理券を配る形に変えられた。時間がかかるようになったため結果として顧客からの工事が見送りにされ、売上も大変減少してしまった。これまでどおり申請書類を持参して受付してもらおう形で良いと思う。【住宅資材卸】。
- ・コロナ関連自粛などによる【清掃資材卸】
- ・売上の8割にあたる客先の稼働が大きく落ち込んでいる【機械工具卸】。
- ・長引く新型コロナウイルスの影響で取引先である飲食店様の注文がなくなり、かなり厳しい状況である。従業員を半日休業させたりしながらの経営になっている(4~5月)【食肉卸】

小売業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 60.0	▲ 51.5	8.5
売上高前年同期比	▲ 48.0	▲ 72.7	▲ 24.7
仕入単価前期比	▲ 36.0	▲ 18.2	17.8
利益率前期比	▲ 56.0	▲ 57.6	▲ 1.6
資金繰り前年同期比	▲ 40.0	▲ 51.5	▲ 11.5
従業員前年同期比	▲ 4.0	▲ 3.0	1.0
業況前期比	▲ 60.0	▲ 60.6	▲ 0.6
業況前年同期比	▲ 52.0	▲ 72.7	▲ 20.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 64.0	▲ 84.9	▲ 20.9

[企業コメントより]

・コロナウィルス関連でマスク用のミシン糸、ゴム等の売り上げ増につながったが、このブームが過ぎるとまた前年並みになるのかと思う【手芸用品】

・新型コロナウイルスにより各イベントが中止となったため、全体的に売上は悪い【食品販売】

・コロナの影響が大きい。最近気温が高いのも売上げのマイナス要因だ【菓子製造販売】。

・母の日(イベント)は、去年に比べて少し売上が上昇した。こちらから集客のためのイベント企画など努力をしないと売上げが伸びないので、スタッフと協力しながら、これからもお店を継続していきたいと思う【菓子製造販売】

・コロナウィルスの拡大で自粛により客足激減である。今後の見通しも不安定である【食料品販売】

・新型コロナの世界的なパンデミックにより、今後事業継続や廃業の問題も増々大きく成ると思わざるを得ない。持続化給付金についても、申請書類等の煩雑さを考えると、高齢な経営者にとって支給申請をためらってしまう。結果として日本全体の小売店舗が20%は減少するのでは、と危惧致している。いち早くワクチンができる事を祈るばかりだ【茶・贈答品販売】。

・弊社、大型商業施設内にて小売業を営んでいるが、コロナ感染症予防の為の時短営業、感染予防対策の為の諸経費増大、客数、客単価の減少により業績の悪化が現在進行している。人件費、テナント家賃を含め、経費負担は大きく、また、先行きの不透明感は否めず、今後も厳しい状況は続くと考え【化粧品等販売】。

・休校の為、新学期以降、特に5月の売上が少ない。今後も授業内容等の変更があるようなので、どう影響が出てくるか心配【文房具販売】。

・3月~4月の卒園・卒業・入園・入学の行事が縮小または中止になり、撮影予約が入っていたがほぼキャンセルが続いた。今も、営業するにあたって、アルコール消毒、空気清浄器を配置し、スタッフもマスク着用で対応、3密にならないよう、限定予約で撮影している。支払いが滞っているので早く支援金等を受けたい【写真スタジオ】

・4月はコロナの影響がでてきて、GWは今までにないくらい悪かった。夏のボーナス商戦までは、この流れが続くと思う【衣料品販売】

・コロナの影響が出ている。この状況は今後数カ月は続くと思う【衣料品販売】

・夏に行う予定のイベントがすべて中止になってしまい、飲食店への納品がほとんどない。自販機売上げに頼るしかない【酒飲料販売】。

・コロナ禍の影響がズシンズシンとのし掛かってくる様な景況で底知れぬ恐さを感じている。確実にマーケットは縮小し、変化待ったなしの状況だ【米穀雑貨販売】

・諸物価は値上がりしているが、売値を上げられず利益が出ない。先行きが暗いと感じている【米穀雑貨販売】

・仕入単価は上昇し、運賃も上昇、卸売業なので売値は高くとれない。コロナで状況が悪化し、経営を続けるのが困難となっている【葬祭用品販売】。

・コロナにより全てのイベント中止【花卉販売】

・新型コロナウイルス感染防止の為、エステ全面禁止等で休業【化粧品・美容品販売】

・都会の自粛やテレワークの恩恵があり、ネットの売上げが伸びている【嗜好品等販売】

サービス業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 29.8	▲ 72.6	▲ 42.8
売上高前年同期比	▲ 29.8	▲ 80.4	▲ 50.6
仕入単価前期比	▲ 17.0	2.0	19.0
利益率前期比	▲ 40.4	▲ 68.6	▲ 28.2
資金繰り前年同期比	▲ 27.7	▲ 60.8	▲ 33.1
従業員前年同期比	▲ 2.1	▲ 11.8	▲ 9.7
業況前期比	▲ 27.7	▲ 80.4	▲ 52.7
業況前年同期比	▲ 40.4	▲ 90.2	▲ 49.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 55.3	▲ 68.6	▲ 13.3

[企業コメントより]

- ・我々にとって新型コロナウイルスの影響は、飲食業とは異なり数カ月遅れてくるとみている【情報サービス】
- ・地元自動車メーカーの製造中止で影響甚大、7月になれば回復するのではないかと期待【自動車輸送業】。
- ・地元自動車メーカーの生産がストップした為、大変だ【自動車輸送業】。
- ・コロナの影響【運送業】
- ・回復は今年いっぱい難しいのではないかと思います。我々もコロナに感染しないように努力しなければ商売ができない【食料品製造販売】。
- ・緊急事態宣言が解除されたあとも、おそらく簡単には客足は戻らないと思う。特に飲食業は感染予防を徹底すればする程、生産性は落ちるし坪効率も落ちるため収益確保には程遠い。解除されてから1年くらいは飲食業を中心に倒産ラッシュになるのではないかと思います【レストラン他】。
- ・コロナの影響を受け売り上げが3月より悪くなり、4月、5月とも前年比の50%以下となっている。6月もあまり良くなっていくとは考えられない【レストラン】
- ・衛生用品(マスク、消毒等)は何とか調達できたが、売上が大きく落ち込み、厳しい状態が続いている【食料品製造販売】。
- ・コロナの影響を、3月下旬、4月、5月、6月と直接受けている。売り上げは前年対比20%~30%と大変キビシイ状況で、未だに先の見通しが立っていないのが現実である。これからは安全、安心を考えながら、新しいワークスタイルを構築し経営を続けねばならない【飲食サービス業】
- ・新型コロナウイルスの影響がかなりある。お客様に直接触れる仕事のため、対策は色々行っているが警戒され来客数が減少している。家族経営なので何とかやり繰りをして頑張っている【理容業】。
- ・やはりこの地域は自動車業界で成り立っている事を再度認識させられる。完成車メーカーの生産調整がこのまま続けば弊社の資金繰りにも多大な影響が及ぶことは間違いない。別の事業形態を模索する必要性も出てくるのではないかと。正直この先のことはわからないが、上期中にはある程度戻ってほしい【資源回収】。
- ・コロナで売上・客足が激減し、営業時間短縮でお酒が売れない。更にこれからは悪くなると思う【飲食業】
- ・業況は当面元通りにはならないが、1~3月が底であり4月以降は盛り返すだろう(希望的観測)。だがそれでも前年同期よりは悪いだろう【教育サービス】
- ・コロナの影響で新規客が来店しない【療術サービス】。
- ・3月期よりも4月期、4月期よりも5月期と売上が下げ続ける。少しでも上げに転じるのはいつなのか?【飲食業】
- ・コロナの関係で結婚式の延期が、人が集まることがなくなった【貸衣装サービス】
- ・(悪化の)要因は新型コロナウイルスである【飲食業】
- ・地元大手メーカーの休業により当社の派遣社員が80人程休業し、その影響が甚大である。依って売上が立たず困窮している【人材派遣】
- ・特に変化なく横ばいである【飲食業】

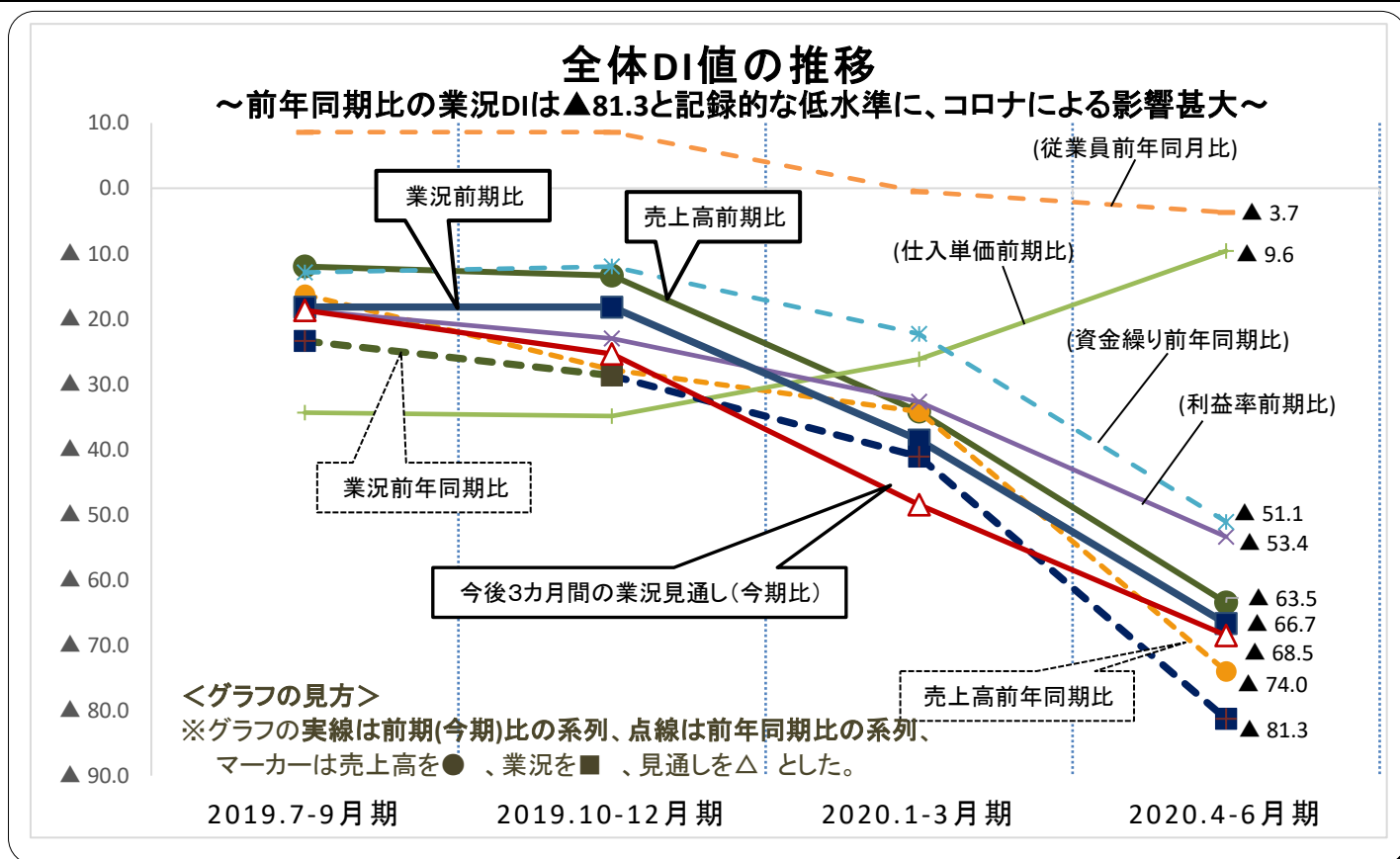
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 34.2	▲ 63.5	▲ 29.3
売上高前年同期比	▲ 34.2	▲ 74.0	▲ 39.8
仕入単価前期比	▲ 26.2	▲ 9.6	16.6
利益率前期比	▲ 32.7	▲ 53.4	▲ 20.7
資金繰り前年同期比	▲ 22.3	▲ 51.1	▲ 28.8
従業員前年同期比	▲ 0.5	▲ 3.7	▲ 3.2
業況前期比	▲ 38.6	▲ 66.7	▲ 28.1
業況前年同期比	▲ 41.1	▲ 81.3	▲ 40.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 48.5	▲ 68.5	▲ 20.0

(4) 動向について

- ・前年同期比の業況DIは4月～5月の経済活動自粛の影響を受け▲81.3の記録的な低水準となった。仕入単価DIを除く他の指標も大きく落ち込み、従業員増減DIも▲3.7とマイナス水準が続いている。
- ・前期の調査結果と比べ悪化が目立ったのは、地元メーカーの生産ライン休止の影響を受けた輸送機器で、前年同期比で業況DIが▲87.5(56.2ポイント低下)、売上高DIが▲90.6(81.2ポイント低下)となった。
- ・今後3ヵ月間の業況見通しは、全体で▲68.5と引き続き大幅なマイナスを予想している。その中で小売業は▲84.9(今期比▲20.9ポイント)、卸売業は▲80.8(同▲18.3ポイント)の水準を見込むほか、建設業も今期比40ポイント以上低下の見通しとなっている。

全 体 D I 値 の 推 移	2019.7-9月期	2019.10-12月期	2020.1-3月期	2020.4-6月期
売上高前期比	▲ 12.0	▲ 13.4	▲ 34.2	▲ 63.5
売上高前年同期比	▲ 16.3	▲ 27.8	▲ 34.2	▲ 74.0
仕入単価前期比	▲ 34.4	▲ 34.9	▲ 26.2	▲ 9.6
利益率前期比	▲ 18.7	▲ 23.0	▲ 32.7	▲ 53.4
資金繰り前年同期比	▲ 12.9	▲ 12.0	▲ 22.3	▲ 51.1
従業員前年同期比	8.6	8.6	▲ 0.5	▲ 3.7
業況前期比	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 38.6	▲ 66.7
業況前年同期比	▲ 23.4	▲ 28.7	▲ 41.1	▲ 81.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 18.7	▲ 25.4	▲ 48.5	▲ 68.5



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 75.7	▲ 66.5	-	-
建設業	▲ 33.3	▲ 32.5	-	-
卸売業	▲ 73.1	▲ 65.6	-	-
小売業	▲ 51.5	▲ 72.9	-	-
サービス業	▲ 72.6	▲ 77.9	-	-
全体	▲ 63.5	▲ 67.4	-	-

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 82.9	-	▲ 64.1	▲ 7.8
建設業	▲ 46.2	-	▲ 32.2	
卸売業	▲ 80.8	-	▲ 60.3	▲ 7.5
小売業	▲ 72.7	-	▲ 59.2	
サービス業	▲ 80.4	-	▲ 73.1	
全体	▲ 74.0	-	▲ 59.8	▲ 7.6

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 8.6	-	▲ 15.5	-
建設業	▲ 10.3	-	▲ 29.5	-
卸売業	▲ 23.1	-	▲ 15.6	-
小売業	▲ 18.2	-	▲ 17.7	-
サービス業	2.0	-	▲ 11.2	-
全体	▲ 9.6	-	▲ 17.1	-

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 58.6	▲ 65.9	▲ 63.3	▲ 43.3
建設業	▲ 18.0	▲ 37.2	▲ 30.1	
卸売業	▲ 57.7	▲ 66.3	▲ 58.5	▲ 41.3
小売業	▲ 57.6	▲ 67.3	▲ 60.6	
サービス業	▲ 68.6	▲ 70.7	▲ 71.1	
全体	▲ 53.4	▲ 64.1	▲ 58.8	▲ 41.8

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 58.6	▲ 46.5	▲ 39.0	1.0
建設業	▲ 25.6	▲ 23.1	▲ 15.3	
卸売業	▲ 50.0	▲ 40.3	▲ 32.2	5.0
小売業	▲ 51.5	▲ 53.7	▲ 43.3	
サービス業	▲ 60.8	▲ 57.0	▲ 51.6	
全体	▲ 51.1	▲ 48.3	▲ 38.6	3.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.4	▲ 9.4	—	—
建設業	10.3	▲ 2.9	—	—
卸売業	11.5	▲ 6.8	—	—
小売業	▲ 3.0	▲ 8.2	—	—
サービス業	▲ 11.8	▲ 15.5	—	—
全体	▲ 3.7	▲ 10.0	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 77.1	▲ 65.9	—	▲ 45.0
建設業	▲ 30.8	▲ 33.5	—	5.0
卸売業	▲ 73.1	▲ 65.3	—	▲ 38.0
小売業	▲ 60.6	▲ 68.5	—	▲ 38.0
サービス業	▲ 80.4	▲ 71.6	—	▲ 87.0
全体	▲ 66.7	▲ 64.1	—	▲ 33.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

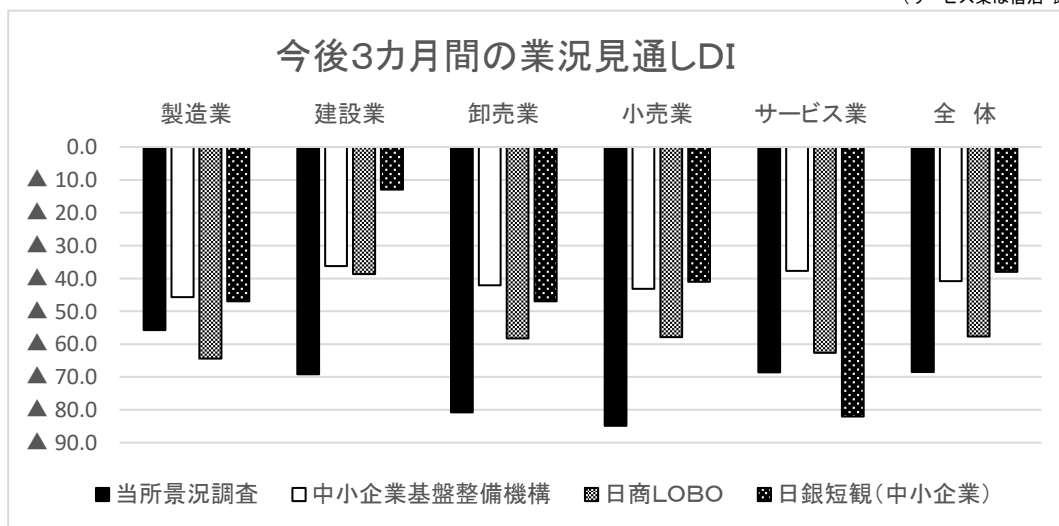
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 88.6	—	▲ 68.6	—
建設業	▲ 64.1	—	▲ 34.0	—
卸売業	▲ 80.8	—	▲ 63.7	—
小売業	▲ 72.7	—	▲ 64.8	—
サービス業	▲ 90.2	—	▲ 74.1	—
全体	▲ 81.3	—	▲ 63.0	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 55.7	▲ 45.7	▲ 64.4	▲ 47.0
建設業	▲ 69.2	▲ 36.2	▲ 38.7	▲ 13.0
卸売業	▲ 80.8	▲ 42.1	▲ 58.3	▲ 47.0
小売業	▲ 84.9	▲ 43.2	▲ 57.9	▲ 41.0
サービス業	▲ 68.6	▲ 37.7	▲ 62.7	▲ 82.0
全体	▲ 68.5	▲ 40.8	▲ 57.7	▲ 38.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2020年（令和2年）7月2日 発行